

### 第32回東海高等学校バスケットボール新人大会

#### 決勝リーグ

試合日	2019年2月9日
会場	このはなアリーナ
コート	Bコート
開始時間	12:40

TEAM A		TEAM B
常葉大常葉 (静岡)	90	62 皇學館 (三重)
	19 - 19	
	25 - 3	
	26 - 12	
	20 - 28	
	OT	

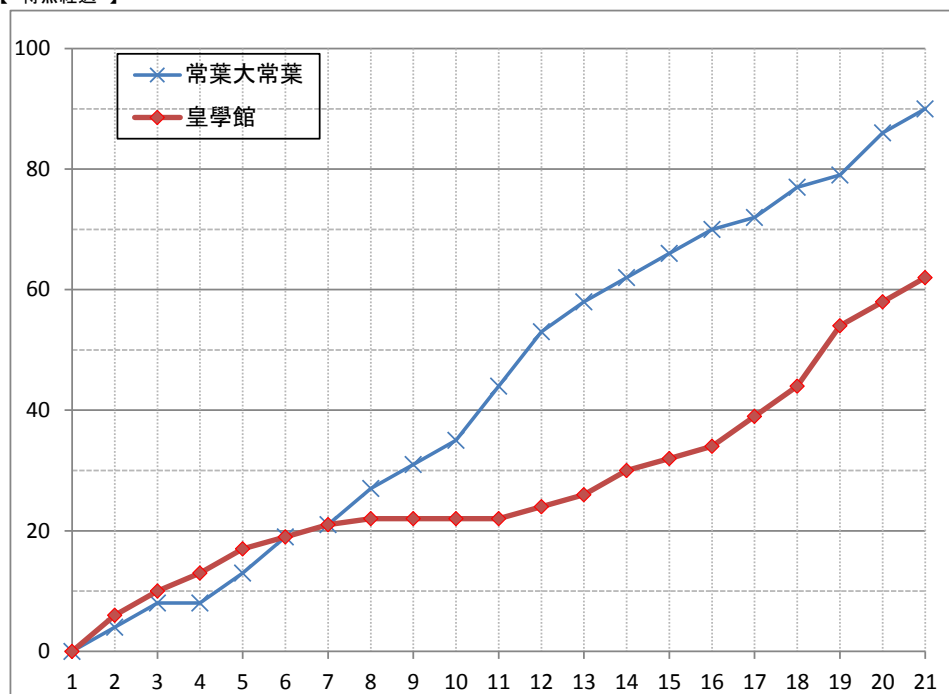
#### TEAM A 常葉大常葉 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山口 郁実	30	2	10	4	3
5	*	林 美弥子	27	3	9	0	0
6	DNP	保坂 悠月	0	0	0	0	0
7	*	池田 桃子	8	0	4	0	1
8	DNP	菅根 萌生	0	0	0	0	0
9	*	山本 光夏	13	0	6	1	2
10	*	本間 海麗	12	1	4	1	4
11	DNP	三原 ことみ	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			90	6	33	6	10

#### TEAM B 皇學館 (三重)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	川口 友愛	29	1	12	2	1
5		山本 菜朝	0	0	0	0	2
6	*	高瀬 怜奈	4	0	2	0	1
7		清原 愛佳	0	0	0	0	1
8	*	小林 舞依	14	0	7	0	4
9		松田 彩花	0	0	0	0	1
10	*	大崎 杏	2	0	1	0	0
11		竹内 七海	3	0	1	1	0
12	DNP	後藤 美月	0	0	0	0	0
13		柳田 あやね	0	0	0	0	1
14	*	森北 優奈	6	0	3	0	1
15		山本 綾香	4	0	1	2	1
16	DNP	峯田 愛弥	0	0	0	0	0
17	DNP	道風 七海	0	0	0	0	0
18	DNP	森本 杏	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			62	1	27	5	13

#### 【得点経過】



#### 【戦評】

1PD 両チームマンツーマンでスタート。常葉⑤林のリバウンドシュートで先制すると、皇學館は④のポストプレーで返す。互いに1対1を中心に得点を重ね一進一退の展開となるが、ミスが出始めた常葉に対し、粘り強くリバウンドに絡む皇學館がリズムを作り、皇學館がリードを7点とする。残り2分から常葉⑤林の3Pや④山口のジャンプシュートで得点すると流れは常葉に傾き、19-19で1PD終了。

2PD 皇學館はショットインプレスで2-2-1を仕掛ける。両チームともに良い形でシュートチャンスを作り出すも決めることができず得点が伸びない重たい時間帯が続く。均衡を破ったのは常葉。④山口⑤林が連続で3Pを決めるとブレイクも出始め、7点差となったところで皇學館がタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず常葉が点差を広げていく。皇學館はディフェンスを3-2に変化させ流れを変えようとするが勢いに乗った常葉を止めることができず、44-22常葉リードで前半終了。

3PD 皇學館は2PD同様2-2-1でプレッシャーをかけるが常葉は慌てることなくボールを運び得点に繋げる。皇學館は④川口の1対1を中心に攻めるが単発的な得点しか奪うことができない。一方、常葉はリバウンドからブレイクで一気に点差をはなしにかかる。リバウンドでも優位に立った常葉は攻撃の手を緩めることなく得点を重ね70-34、常葉リードで3PD終了。

4PD 皇學館は2-2-1のプレッシャーを強め、常葉のミスを誘う。オフェンスにもリズムがうまれ、④川口の3P、ポストプレー⑧小林のミドルシュートなどで得点を重ね、点差を縮める。常葉はカッティングと1対1を中心にオフェンスを組み立てるがシュートを決めることができず流れは皇學館へ。最後までゴールに向かい得点を重ねる皇學館であったが、2PD、3PDでひらいた点差がひびき、90-62で常葉勝利した。

戦評(文責) 鈴木洋平(島田高校) 記入者 徳濱陸真(清水東高校)